



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年5月14日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	15	—	△61	—	△60	—	△60	—
26年12月期第1四半期	—	—	△73	—	△72	—	△72	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△2.66	—
26年12月期第1四半期	△3.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	2,075	2,055	99.1
26年12月期	2,135	2,116	99.1

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,055百万円 26年12月期 2,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50 ～80	—	△249 ～△219	—	△246 ～△216	—	△247 ～△217	—	△10.88 ～△9.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期1Q	22,783,400株	26年12月期	22,768,400株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	－株	26年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期1Q	22,774,566株	26年12月期1Q	22,719,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、海外景気の下振れリスクや原油価格の変動等による国内景気への影響が懸念されており、先行きの不透明感は払拭されておりません。

国内医薬品業界におきましては、医薬品需要は増加傾向にあるものの、国の医療費抑制政策を反映し、後発医薬品の利用促進、医療制度の見直しが進むなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により、「グラナテック*点眼液0.4%（一般名：リパスジル塩酸塩水和物、開発コード：K-115）（以下、「グラナテック」）」が緑内障・高眼圧症を適応症として、平成26年12月より国内上市されております。また、抗血小板剤「K-134」につきましては、平成26年12月に国内後期第Ⅱ相臨床試験が終了しました。本試験により、本剤投与の有効性は示唆されたものの、主要評価項目が達成できなかったため、興和株式会社にて今後の開発方針が検討されています。さらに、ライセンスアウト先のわかもと製薬株式会社により、緑内障治療剤「H-1129（WP-1303）」の非臨床試験が実施されました。

新規開発品につきましては、「H-1129バックアップ化合物（開発コード：H-1337）（以下、「H-1337」）」の化合物最適化を完了しており、メカニズムの解明と非臨床試験に向けた準備を進めております。シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動を行いました。

売上高につきましては、「グラナテック」の国内販売状況が順調に推移した結果、ロイヤリティ収入15百万円を計上しました。

利益面につきましては、研究開発費が23百万円（前年同期比4.7%減）、その他販売費及び一般管理費が53百万円（前年同期比8.7%増）であったことにより、販売費及び一般管理費は76百万円（前年同期比4.2%増）となりました。その結果、営業損失は61百万円（前年同期営業損失73百万円）、経常損失は60百万円（前年同期経常損失72百万円）、四半期純損失は60百万円（前年同期四半期純損失72百万円）となりました。

なお、当第1四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

① 新薬候補化合物開発状況

(イ) ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬（対象疾患）	開発段階	ライセンスアウト先
グラナテック	緑内障治療剤 （緑内障・高眼圧症）	国内上市	興和株式会社
K-134	抗血小板剤 （閉塞性動脈硬化症）	国内後期第Ⅱ相臨床試験終了 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
H-1129（WP-1303）	緑内障治療剤 （緑内障）	非臨床試験	わかもと製薬株式会社

(ロ) 新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬（対象疾患）	開発段階
H-1337	緑内障治療剤（緑内障）	化合物最適化完了
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	眼科関連 神経系 循環器系 呼吸器系等	基礎研究

② 当期の業績の概況

(イ) 売上高、売上原価

売上高は、興和株式会社による「グラナテック」の国内販売状況が順調に推移した結果、ロイヤリティ収入15百万円を計上しました。なお、「グラナテック」のロイヤリティ収入15百万円には、平成26年12月分のロイヤリティ収入も含まれております。当社は、販売額に応じたロイヤリティ収入を得る権利を有しておりますが、新薬の販売初月は返品が発生する影響で純売上高が大きく変動することから、ライセンスアウト先における売上高の集計が終了しておらず、当社のロイヤリティ収入を合理的に見込むことが困難であったため、前事業年度においてはロイヤリティ収入を計上していなかったことによるものです。

売上原価はありません。

(ロ) 販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は支払手数料の減少等により、23百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

新規開発品につきましては、「H-1337」の化合物最適化を完了しており、メカニズムの解明と非臨床試験に向けた準備を進めております。シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動を行いました。

なお、当社のパイプラインである「グラナテック（国内の緑内障・高眼圧症を適応とした領域を除く）」、「K-134」及び「H-1129（WP-1303）」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は、人件費及び旅費交通費の増加等により、53百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

これらにより、営業損失は61百万円（前年同期営業損失73百万円）となりました。

(ハ) 経常損失、四半期純損失

営業外収益に受取利息921千円を計上したこと等の結果、経常損失は60百万円（前年同期経常損失72百万円）、四半期純損失は60百万円（前年同期四半期純損失72百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から60百万円減少し、2,075百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が前事業年度末に比べ83百万円減少した一方で、売掛金が16百万円増加したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第1四半期会計期間末99.3%、前事業年度末98.7%です。

負債は、前事業年度末から0百万円増加し、19百万円となりました。主な要因は未払金が3百万円増加した一方で、未払法人税等が3百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末から60百万円減少し、2,055百万円となりました。主な要因は四半期純損失の計上により、利益剰余金が60百万円減少したこと等によるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第1四半期会計期間末99.1%、前事業年度末99.1%です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績につきましては、平成27年2月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,447,268	1,363,826
売掛金	27	16,810
有価証券	620,066	632,086
その他	41,211	47,926
流動資産合計	2,108,574	2,060,650
固定資産		
有形固定資産	6,036	5,508
無形固定資産	232	219
投資その他の資産	20,846	8,791
固定資産合計	27,115	14,519
資産合計	2,135,689	2,075,169
負債の部		
流動負債		
未払金	8,228	12,003
未払法人税等	5,860	2,671
その他	5,378	4,904
流動負債合計	19,466	19,580
負債合計	19,466	19,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,366,684	2,366,699
資本剰余金	2,356,684	2,356,699
利益剰余金	△2,607,146	△2,667,809
株主資本合計	2,116,222	2,055,589
純資産合計	2,116,222	2,055,589
負債純資産合計	2,135,689	2,075,169

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	—	15,565
売上原価	—	—
売上総利益	—	15,565
販売費及び一般管理費		
研究開発費	24,347	23,191
その他	49,322	53,605
販売費及び一般管理費合計	73,669	76,797
営業損失(△)	△73,669	△61,231
営業外収益		
受取利息	821	921
有償サンプル代収入	484	—
その他	31	—
営業外収益合計	1,337	921
営業外費用		
株式交付費	72	73
為替差損	—	40
その他	—	0
営業外費用合計	72	113
経常損失(△)	△72,405	△60,424
税引前四半期純損失(△)	△72,405	△60,424
法人税、住民税及び事業税	239	239
法人税等合計	239	239
四半期純損失(△)	△72,644	△60,663

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日）及び当第1四半期累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。